

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]

人 口

——12月31日現在——

9,866人 男... 4,780人
女... 5,086人

世帯数..... 2,614

転入 19 出生 11

轉出 37 死亡 6



“おめでとう”
新人

153人が大人の仲間入り

第198号
昭和51年

2月1日

おめでとう新成人のみなさん。新成人を祝い励ます町の成人式は、さる1月15日畜産センターで行われました。大人の仲間入りしたのは153人(男69人・女84人)。出席したのは、このうち101人で、会場は振りそで姿のお嬢さんたちで埋まり、ひととき華やいだふん囲気。岩下町長が「これからは社会的にも法的にも

立派な成人。実行力と情熱に富むみなさん方の活動に対して、深い信頼と期待を寄せています」とあいさつ。一人一人に記念品を贈りました。このあと来賓からお祝いと激励の言葉があり、成人代表の二子石三治さん（高尾野）が「若さで情熱をもって、それぞれの道で精いっぱい頑張ります」と宣誓しました。

お も な 内 容

- ☐ 国民休暇村10月に仮オープン……………(2)
- ☐ 草部に基幹集落センター完成……………(3)
- ☐ 国民健康保険と交通事故……………(4)
- ☐ たかもりの民話・郷土の博物誌……………(5)
- ☐ お知らせ・町の新婚さん……………(6)
- ☐ 町民のひろば（読者がつくるページ）……………(7)

▽ 一日	本 田 医 院
上 町 ②〇〇一六	
▽ 八 日	藤 本 医 院
中 松 ⑦〇〇二〇	
▽ 十 五 日	後 藤 医 院
下 田 ⑦〇〇一九	
▽ 二 十 二 日	平 田 医 院
旭 通 ②〇二一六	
▽ 二 十 九 日	馬 原 医 院

日曜
在宅医

町民文芸



俳句

初光り眩ゆきばかり辰の年
還暦の素顔たしかめ初鏡
老の手の震えをおさえ筆始
枕辺をそつと抜けゆく隙間風
お年玉幼な孫にも人並みに
老ひたれど詩吟朗々お元日
雲降る故郷の灯り峠より
老二人吾が城を守りメ飾る
初夢も忘れ食て寝て三ヶ日
同志得て話題が変り寒の入
大釜に若水たたえ沸かしけり
柳の芽雪一片を包みけり
初雪に正月客も足とまり
耳うとく語るも聞くも初笑
冬ぬくき日は心まで暖かく
天高く白銀しぶき出初式
初しらべ琴の流れも町をゆく
年始客話は過去に遡り
山始地下足袋しかと踏みしめ

肥後狂句

あと数日　身軽うならす母子手帳
時間の無ア　今朝も歯ブラシお茶引かせ
急がなか　腹の目立たん内がええ
時間の無ア　司会が祝辞聞引きする
意地　錦飾った村八分
時間の無ア　手付けはキツスだけだった

野尻 いくよ
野尻 さだむ
能谷 紫雲
瀬井 ほか
草村 あつ子
長友 たつ子
能谷 つ子
馬原 その女
草村 鶴代
藤井 秋雪女
野尻 誓道
本田 訓子
瀬井 てる女
瀬井 起代女
能谷 こう女
甲斐 菊江
能谷 あさ子
野尻 里女
馬原 岳人

おめでた おくやみ

出生

S 50.12.16~S 51.1.15

(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)
横町	城後 喜郎	亮	男	50.12.5
下町	緒方 博泰	博之	男	50.12.23
上在	永松 昌則	ゆき	女	50.12.25
森	徳丸 啓三	和彦	男	50.12.30
旭通	甲斐 利男	さゆり	女	50.12.31
下町	林 秀満	隆三	男	51.1.6
昭和	増田 文雄	京子	女	51.1.1
上町	甲斐 計雄	幸司	男	51.1.7
菅山	安在 健男	まゆみ	女	50.12.4
矢津田	本田 五男	由香	女	50.12.19
芹口	佐藤 敬雄	龍也	男	51.1.3
津留	小倉 貴好	政幸	男	50.12.30
津留	甲斐 孝幸	龍之	男	51.1.6

雜詠

くたびれて　小切手帳も飾りもん
あと数日　初孫の顔拝まるゝ
上手さが　契められすぎて損ばかり
くたびれて　酔狂が目も光らんぞ
あと数日　洗い髪にも念の入る
上手さが　我流にゃ見えん舞扇

馬原 馬笑
田上 黙公子
林田 瑤子

月と黒竜

倉庫 今泉多美江 (83)

人生の行路

がたし
(十三夜の感想)

今宵睦月十三夜

上色見 後藤嘉平 (86)

空に渦巻く 黒竜に
いどむに似たり 寒月は
見えつかくれつ 竜尾より
光り輝き 下界を照す
あゝ大自然の 壮観
仰ぎ見て 心おののく

○ながらえて米寿の春を迎へ
たりありがたく思う衆生
の恩 樂王

- ▽高森 下町の桐原東洋一さんから(父、倍次さん・67歳死去)
- ▽尾下の甲斐安人さんから(父、竹彦さん・90歳死去)
- ▽上色見洗川の後藤イツさんから(夫、惟誠さん・50歳死去)
- ▽高森 下町の武田澄子さんから(母、ツヤさん・81歳死去)
- ▽高森 森の岩下幸一さんから(父、義行さん・55歳死去)
- ▽矢津田の池田文夫さんから(交通事故故埋葬金の返礼として)

死亡

(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
下町	武田 澄子	義母	武田 ツヤ	81	50.12.17
下町	桐原 房子	夫	桐原 倍次	67	50.12.17
横町	岩下 正明	2女	岩下 恵	1	50.12.29
洗川	後藤 イツ	夫	後藤 惟誠	50	50.12.29
森	岩下 幸一	父	岩下 義幸	55	51.1.3
下町	山村サチ子	夫	山村 毅	52	51.1.6

ご寄付

杖立旅行で記念撮影



私たち津留下町納税組合は、昭和三十八年十二月に発足しました。当時は組合員も十名程度でしたが、「納税が便利」だとか「町から還元金がもらえる」という声を耳にした人が加入して、現在では十五名のグループになりました。

楽しかった杖立温泉

津留下町納税組合

甲斐ミツ(49)



この欄……「声」はみなさんのページです。町に対するご意見、要望、苦情などなんでもご投稿ください。

町民のひろば

読者がつくるページ

皇居奉仕の回顧

〈3〉

高森下町 二子石 開(73)

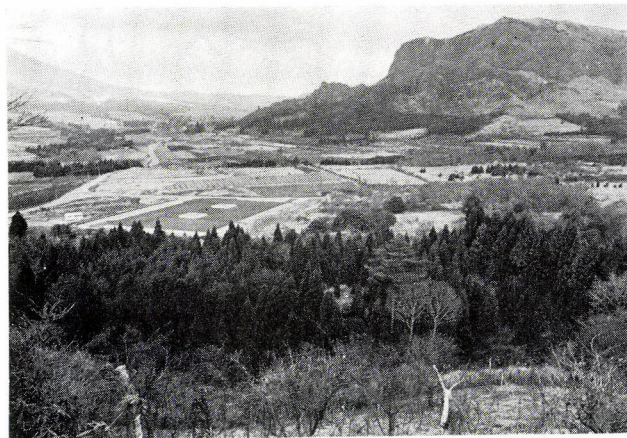
宮城は初年に建築された東洋一の建物であった。五月二十五日夜の空襲の際、孤格子に焼夷弾が落ち、あたりは折柄の乾燥状態に加え、風速二十分の突風で火の回りが以外に早く、警視庁の特別消防近衛、皇宮警察の精鋭が全力を尽して消火に当たりし、紅蓮の焔は屋根裏、天井裏、更に全宮殿を覆い、天に沖する火災にて五時間後炎上し尽した。消火に当たった二十八名の尊い命も奪った事返す返すも痛恨のいたりであった。

焼失した宮城跡に造営された新宮殿の長和殿の御立台に天皇、皇后両陛下、皇太子殿下ご夫妻、常陸宮殿下ら夫妻お揃いにて新年、天皇誕生日に宮殿前の広場を埋めた全国からの参賀者にお会釈があり、一同は皇室の栄光を祈念しての万歳は大内山の森に響き渡った。参加者は毎年増加し、近年は特に若い人が目立って多くなった事は日本の将来にほのぼのと明るさを感じさせられる。

紀元二千六百年の祝典の際、満洲国皇帝、秩父宮の御宿泊所が京都大宮御所と赤坂離宮に当てられて、両国の料理室が壁一重にて出入にはその都度鍵がかけられた。赤坂離宮二階の防空連絡室も終戦によってなくなり、そこには処理内閣の首班として、東久邇宮に大命降下されたことで組閣本部が置かれた。当時は組閣参謀の緒方竹虎氏が元気で采配を振っていたが、東庭には報道関係の天幕が張られ急に慌しい光景を呈した。離宮にさようならして三十年感慨無量。

岩下町長はじめ、佐藤町老人会連合会長、山村町婦人会連合会長から皇居奉仕団へ馳をちようだいしたことをお礼申し上げます。

国民休暇村の建設予定地



本館 宿舍の完成予想図

期待の「国民休暇村」

県と本町が国道二六五号線沿いの草河原一帯に誘致した南阿蘇国民休暇村建設は、取り付け道路、駐車場が完成したのに続き、休暇村のカナメとなる本館宿舎も新築されることになり、このほど現地に関係者約五十人が出席して起工式が行われました。

10月には仮オープン

近く本館宿舎を建設

南阿蘇休暇村の建設は昨年七月自然環境保全審議会が環境庁の諮問案を承認して正式に決定したことから、町ではこれらに必要な用地買収を急ぎ、受入れ体制を整えてきました。

この休暇村は総面積六十九・六畝。南郷谷と阿蘇五岳を一望できる起伏に富んだ景勝の地で、区域内を環境庁直轄の公共施設地区と国民休暇村協会(財団法人)直轄の有料施設区分に分け、公共施設では車・歩道、運動

広場(野球場、テニス、バレーコートなど)、園地、休憩展望所、ピクニックセンター、レクリエーション、野営場、サイクリング道、乗馬場、駐車場など。有料施設では二百六人収容の宿舎のほか、貸別荘、バンガロー、児童遊戯施設などが整備されます。事業費は公共

施設五億五千万円、有料施設十億円、協力事業費二億円の計十七億五千万円。公共施設分は県が環境庁の委託を受けて、四十九年度から五カ年計画で施工しており、すでに駐車場六千七百平方メートル(乗用車百二十台、大型バス十二台駐車可能)

「好評」高森町の特産品

熊本県民芸と味まつり

「郷土くまもとを見よう・民芸と味まつり」(熊日、阿蘇郡十二町村など主催)は、一月十五日から二十日までの六日間、熊本市の岩田屋伊勢丹七階催し場で開かれましたが、本町からもこの催し

に婦人会、加工業者などが参加して高森町のPRに努めました。各地に埋もれている名産や特産物を見直して、現代の生活にも生かし、さらに特産物のPR販売と販路開拓を図るのがねらい。

本町からの販売品は山菜の干し物、手作りの納豆、コンニャク、ソバ粉、漬け物など約四十種。実演販売、茶屋では上見の田焼、色見の手打ちそばが人気を呼び、会場の高森コーナーはオーブン早々から買い物が詰めかけ大盛況。作り方食べ方などを聞く人も多く、販売にあたった人たちははてんでこ舞いでした。

日本顕彰会から表彰を受ける

横町の小林医師



本町の高森横町で開業医として地域の医療に貢献した。

小林医師は昭和十二年、本町の医者として診療所を開業され、今日まで三十八年間、地域住民の医療と健康管理に従事してこられました。

とくに小、中学校の校医として児童の保健衛生に尽力、この地方の児童の歯をむしばむ風土病「ヨナ歯」(班ⅡはんⅡ状歯病)や、火山灰の影響と過重労働、栄養不足から発病する風土病「ホネクサ」を究明して、県や国に難病奇病対策を呼びかけるなど、地域における保健活動に貢献されました。

また現在では、青少年のスポーツの奨励と社会体育の振興にも絶大な努力を払われ、健康で明るい町づくりに尽くされています。

お知らせ



所得税の確定申告はじまる

五十年分の確定申告は二月十六日から三月十五日までです。申告書の書き方などの説明会が二月二十三日午前十時三十分から高森町役場で、税務署から係官が出張して行われます。

自分の所得は自分で計算して申告できるように、説明会に出席されるようお勧めします。

また申告書の書き方などの相談については、三月四日から三月五日まで、同じく高森町役場で行います。詳しいことは税務署か役場税務課でおたずねください。

資源を大切に する論文募集

県では、資源・エネルギーを大切にすることを運動の一環として、次の要領で論文を募集します。

【テーマ】資源・エネルギーを大切にすることを運動展開の具体的方策について。

【応募資格】県内居住の高校生以上の方ならどなたでも結構です。

【原稿】①四百字詰原稿用紙六枚程度で縦書きとします。②原稿の右端をとり一枚目の右半分に氏名、年齢、住所、職業、電話番号(学生の場合は学年、学校名)を明記してください。

【締切日】二月十五日(消印有効)

※くわしくは熊本市水前寺六丁

身障者のバス運賃割引を改正

西日本鉄道KK

西鉄バスでは身体障害者に対するバス運賃割引を本年一月一日から次のように改正しました。

身体障害者運賃割引証の提出を廃止して、身体障害者手帳の提示

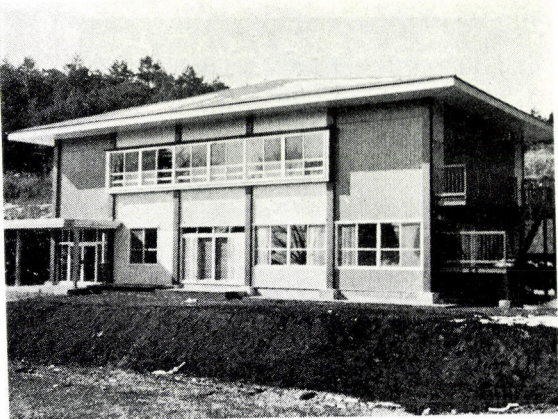
草部に基幹集落センター完成

農林業者育成にひと役 使用願いは草部出張所へ

町が五十年事業として、草部社会の役場出張所隣に建設中だった高森町基幹集落センターが、このほど完成しました。

同センターは農林業者の人材育成と生活改善、社会福祉向上を図るための研修施設。草部地区には大規模な集会所・研修の場がなく不便をかねていたため、町が山村地域農林漁業特別対策事業として、昨年九月に着工、いらい急ピッチで工事を進めていたものです。

完成した同センターは敷地千七百九平方、鉄骨造り二階建て(三百三十三平方)で、一階は二十人収容の小研修室をはじめ、食生活改善に役立てる調理実習室、地域住民の健康管理を行う保健相談室、娯楽室など、二階は百五十人収容の大研修室と倉庫。備品



完成した集落センター

目十八番一号 県福祉生活消費生活課内「資源を大切に」する県民運動推進会議事務局へ。

各種 年金の相談所を開設

国民年金係では国民年金をはじめ厚生年金、農業者年金全般について、不明な点や疑問をお持ちの方のために、年金相談所を次のとおり開設します。

お気軽においでください。

二月二十三日午前十時から午後三時まで

〆ところ〆 畜産センター

ニセ税理士に注意しましょう

毎年、確定申告の時期になります。税金の相談や書類の作成を

町の新婚さん

尾下片山 古沢 一三さん(23)
(矢津田) 和子さん(27)



三年前の秋のことです。地元の人だちと高千穂へ遊びに行き、たまたま彼女と知り合いました。町中を歩き回ったあと、ある喫茶店に立ち寄ったとき、陽気な三人連れの若い女性たちがいました。僕はからかい半分に「もちろん本気が半分以上」話しかけてアプローチすると、いやな顔ひとつせず打ち解けて語りかけてくれました。

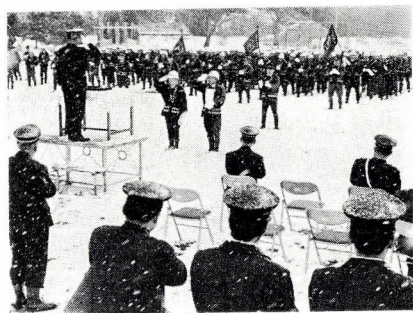
そこで型どおり、住所や名前を聞き、楽しく過ごしたわけですが、なかでも彼女は気さくで

元気がうま、そのくせ落ち付いた雰囲気をもっていました。そのうち、みんなが意気投合。次の休みには祖母山に登ろうと約束して別れたのでした。

ところが、彼女は僕より四つ年上。両親から反対されるのではないかと不安が先立ちました。まず、近くの親せきに相談をして親を「攻略」したのが昨年の夏。予想に反して抵抗はなく、ほっとしました。それから、どうせ結婚するのなら、早くにこしたことはないといつてくれ、昨年の十二月三日にゴールインできました。

ところで、新婚旅行にはマイカーで信州・長野ドライブ。車は新しかったし、二人とも岐阜・長野にまたがる恵那山トンネルまで走ろうと意見が合ったからです。しかし、六泊七日の旅も大半は雨。そのうえ、四国の桂浜で見た犬のケンカは三分で五百円もとられ、さんさんの旅でした。

小雪舞うなか、勇壮に 町恒例の消防出ぞめ式



新年恒例の高森町消防出ぞめ式は、一月十日高森中学校グラウンドに山村団長以下十一分団二百三十三人と来賓多数が参加して行われました。

午前八時四十分爆竹を合図に各分団が入場して整列。塚本副団長の総指揮のもとに国旗掲揚、全国消防殉職者に対する黙とうをささげたあと、岩下町長の通常点検、器具点検を受けました。

この日は寒風、小雪が激しく舞い散る厳しい天候でしたが、どの分団もきびきびとした動作で高森町消防団の「勇姿」を示威しました。

引き続き、各分団は中央四ツ角まで分列行進を行い、別所の堤で一斉放水を披露。このあと高森小学校グラウンドでの表彰式に臨みました。岩下町長の式辞のあと、山村消防団長が「町の消防施設は年々整備されており、各団員は常日ごろから消防機器の点検や規律訓練を重ね、有事即応の態勢を確

立して、町民の信頼に応えてほしい」と訓示しました。表彰関係は次のとおり。

【通常点検】①第三分団(草部北) ②第七分団(下色見) ③第五分団(高森市街地区)

【消防庁長官表彰】▽在職二十五年以上〓奥松武春、野尻耕蔵、大崎高士、二子石元義、田上勝行

▽在職十五年以上〓二子石元義以下二十三人。

【県消防協会長表彰】▽功績章(二十年以上) 矢津田界以下四人▽勲章章(十五年以上) 阿南捷光以下十四人。

【一般表彰】▽土地提供〓勝木一友、田上キカ、川上部落、白石昭利、白石一、本田実、工藤善蔵、本田貞、池田文男

なお、本町消防団は県消防協会から優良消防団として表彰されました。〓写真は通常点検

昔々、青ビキ(雨蛙)や、とてんひねくれ坊主で、親ん言うこつやら、いっちょん聞きもせん親不孝もんじやったてち。

親ん「今日はよか日和じやき、山にどん行つて、がまだしきなはり」てち言わすと「いやばいた。おりや田に行つてくるとじやき」てち言うち、田さん出かけた。「今日は田に行つてきなり」てち言わすと、「おりや畑に行つてくる」て言うち、畑さん行つたげな。なんこつもみーなそぎやんしたふうじ、親に反対のこつばかりしよったもんじやき、親が病気になるて死なすとき、静かな山の中に埋めちもらいたかったばってん、そぎやん言うち、また、いっちょんこつ反対のこつばして、山の中にや埋めちくれんどち思ふちな、わーぎつ、川端に埋めちくるこつ頼んでかり死なしたてち。



青ビキの親不孝

ところが、今まじ、さんざんもごうちばかりおった青ビキも、さすがに親の死なすと、「おりや、なんちゅう親不孝もんじやったつじやろか、せめち死なすときに言わしたこつなりと守らにや」てち反省ばして、親ん言いつけどおり、川端に墓ばつたげな。

ばってん、川端じや雨が降るころになつて、大水か出るもんじやき、そなたび親ん墓が流されやせんどかち心配でたまらん。

そいで今でん雨が降るごたるもようになると、こんこつば思ひ出して心配して鳴くとてち。

たかざりの風話

<7>

高森町文化財保護委員

岩下 真理子

親の言うこつば、はようからきいとると、よかつたとなあ。
(肥後昔ばなしから)

郷土の博物誌

オオイタサンショウウオ

生き化石とまでいわれているサンショウウオがいることは、野尻や草部の一部地元民の間で早くから知られていた。昔は子供のカン虫に効くとか、精強剤になるということで、二、三月ごろ山から下りて、川床の溜り水に産卵する時期には、たくさん捕獲されていたというところであった。

私も退職帰郷後この話を聞き、産卵期に神原川に行き初めて観察して写真を撮った。しかしそのサンショウウオがどんな種類のものであるかは、だれも知ってはいなかった。さっそく、熊本博物館で調べてもらったところ、ブ



調査に来られ、初めてオオイタサンショウウオであることが判明すると同時に、学会に大きな反響を呼ぶ結果となった。というのは、このサンショウウオ、その名のとおり大分県の一部で、標

洗たく機は湿気が大さらい

風呂場はいつも湿気が多いので洗たく機の各部分は傷みやすく、モーターの絶縁も悪くなりがちで漏電しやすくなります。

洗たく機は風呂場など湿気の多いところ、

⑥ チサンショウウオではないかということであった。

その後、このことが新聞に掲載されたため、サンショウウオの権威者である大分県教育委員会の佐藤真一先生がだけにビッグニュースである。

佐藤先生の興奮された顔を、私は今でも忘れることができない。

ところで、このサンショウウオを実際に食べた人から聞いた話であるが、くしにさして火にあぶると、両手を合掌するようになつてくるのである。そうではなくとも、こんな貴重な生き物を捕ったり、食べたりすることはやめて、この高森町がいつまでも彼らにとって安住の地であるよう心から願うものである。

(サンショウウオ科・カスミサンショウウオ属)

町文化財保護委員

佐藤 武之

国保と交通事故

知っておきたいこと

他人(第三者)に傷つけられ、ケガをしたり病気になったりすれば、加害者が全責任を負って損害の賠償をするのが世の中の約束ごとです。したがって、そのようなできごとで治療を受けるときは、国保の保険給付はされないことが原則です。

しかし、それは交通事故という自動車による傷害が全く国保で受けられないかというところではありませ

現実には治療のすべての経過をみないことには、どれだけの費用がかかるかわかりませんし、後遺症の問題もあります。

また加害者の賠償支払いの能力の問題もあります。そういうことがすべてわかって、最終的な損害賠償を受けるまでは長い時間がかかり、その間の治療は自費でまかなうということになる、生活そのものが危機に直面することになりかねません。

国保が一時立替え後で加害者が返す

被保険者が交通事故の障害で苦しんでいるのに、それは加害者との間の問題であるとして、放置してよいはずはありません。そこで、交通事故のケガや病気も国保の保険診療が受けられる道が講じられているというわけです。

国保の保険診療が受けられるというのは、治療費を国保が一時立替えておくということなのです。そうすることで、被害者(被保険者)の生活の困きゅうを救おうということなのです。そしてその分は、加害者が負うべき当然の責任として、あとで国保に返還してもらわなければなりません。

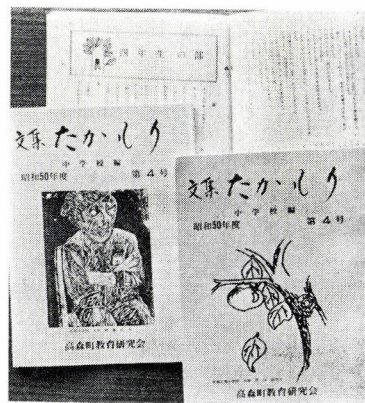
交通事故の傷害にあい、国保で治療を受けるには、いくつかの条件や手続きがあります。

◆加害者から現実治療費を受けとってあれば、国保の保険診療を受けることはできません。

◆「第三者の行為による傷害届」を提出しなければなりません。これが加害者にあつて立替えた分を返還してもらう資料となります。

◆このほか、警察の事故証明や示談が成立した場合の書類などいろいろありますので係にご相談ください。

童心がいっぱい 高森町教育研究会 文集第5号を刊行



発行された文集たかもり

水道は大切に使いましょう

さる一月十二日から高森地区で給水制限を行い、多大のご迷惑をおかけしましたことを深くおわび申し上げます。

この原因は最近の水需要の増加に加え、各戸が凍結防止に夜間の出し流しを行ったためとみられています。このため、町では鉄建公団と協議を重ね、給水能力を高めるための施策を図りました。また

将来の水道施設づくりについても同公団と検討を続け、水不足解消へ努力しているところです。

生活文化の向上とともに水を使う範囲はふえていますが、第一に生活用水の確保という立場にたち、今後はみなさんも節水にご協力ください。なお、水量器の故障や水道管の破損など見かけた場合は建設課水道係へ一報ください。